

学習支援だより ～2018年度 春夏号～

一般財団法人 学習能力開発財団 Lead



今年は爽やかな春が短く、いつの間にか暑い暑い夏がやってきました！適度に水分や休憩をとりながら、体調を崩さないように乗り切っていきたいですね。

さて、今回は“合理的配慮”という言葉について考えてみたいと思います。お子さんに何らかの困難がある場合、学校やご家庭において“配慮”が必要になります。ただその際、ただ単に負担を軽くしたり免除するだけでは、そのお子さんの成長にはつながりません。本人の様子や状況に合わせて、「こう工夫すればできる」「この部分だけサポートしてもらえれば、あとは自分でできる」というポイントを見つけることが大切です。

私たちの教室でも、それを意識して授業するようにしています。難しいのは、同じ障害を抱えていても一人ひとり困難の中身や度合い、現在の心理的な状態が全く違うことです。失敗や挫折で自信をなくし自己肯定感がものすごく低くなっている状態にもかかわらず、「やればできるよ！」と叱咤激励しながら無理に頑張らせようとしても、効果があるどころか余計やる気を削いでしまうことさえあります。その時々のお子さんの表情やエネルギー状態を見て、授業内容を変更します。そしてタイミングを見て“今”のステージから少しだけレベルアップした課題に挑戦してもらい、小さな「できた！」を積み重ねて自信や意欲をゆっくり育てていくのです。

ただ負担を軽くする配慮ではなく、お子さんの成長につながるような“合理的配慮”。お子さんの様子をよく観察することで、そのヒントが見えてきます。

<現場の声 ～授業担当教師の報告より～>

今年度から学校では支援学級に移籍したが、少人数で落ち着いて授業を受けている。補助の先生もおり、自分のペースで学習を進められるのがいいようだ。表情も明るい。

(小3)

授業では教師からの質問だけではなく、生徒さんから問題を出してくれる。クイズのように楽しみながら学ぶことができています。今期の短期目標も既にクリアしている。

(小6)

中学校で初めての定期試験、心配していたが5教科400点以上取れた！今後は集中力アップとケアレスミス対策に力を入れ、さらに実力を伸ばせるようにしていきたい。

(中1)

高校3年生となり、進路について一緒に話し合っている。本人の好きな技術系の専門学校を検討中。夏休み中にいくつか学校見学をしたいと前向きに話している。

(高3)

一般財団法人 学習能力開発財団 Lead

仙台市定禅寺通りにある、特別なニーズに対応する学習支援団体です。
一人ひとりのよさと課題を見極めるアセスメントのための授業など、
お問い合わせはお気軽にこちらまで・・・

電話：0120-001-296

メール：info@lead.or.jp